



八幡小だより 10月号

令和7年 9月 30日

八潮市立八幡小学校

児童404名 16学級

共に

校長 小久江 桂子

校庭のビオトープでは、金魚たちが水草の間を気持ちよさそうに泳いでいます。色も形も少しずつ違う金魚たちが、同じ水の中で元気に暮らしている姿は、とても温かな光景です。そこには「違いを受け入れながら共に生きる」大切さが表れているようにも感じます。

私たちの学校も同じです。子供たち一人一人が自分らしく過ごしながら、お互いに認め合い、支え合うことで、子供たちは安心して学び、成長していきます。そして、その先に生まれるのが、笑顔あふれる学校であると、私は考えています。



職員・来校者用玄関前には、季節ごとに色とりどりの花を植えています。この花は、本校の教頭が子供たちの喜ぶ姿をイメージしながら、植え替えてくれています。登校してくる子供たちは、その花を目にすると自然と笑顔になり、学校生活の一日を気持ちよくスタートすることができています。花は声を出して語りかけることはありませんが、その子供たちの姿から「人の心を和ませる力」を、私は日々感じています。

子供たちも同じです。お互いの存在が支えとなり、ふとした笑顔が友達を励まし、学級全体を明るくしてくれています。花が玄関を彩るように、子供たち一人一人が学校を彩り、笑顔あふれる学校をつくってくれています。

今後も、保護者の皆様や地域の皆様と共に、その笑顔の輪をさらに広げてまいりたいと思います。ビオトープの金魚たちを見ながら、玄関前の色とりどりの花を見ながら、子供たちが「共に生きる」ことや「共に学び合う」ことの素晴らしさを感じ取ってくれたら嬉しいなと思う、今日この頃です。



今年度も八幡小のホームページを活用して、随時子供たちの様子を配信しています。ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

←本校ホームページ用 QR コード(読み取るとページに移動します。)